

自分の感覚や認知の特性について理解し、自分の得意な方法で読むことの困難を改善することに関する実践

日 時 令和4年6月23日(木)

対 象 小学校 3学年 1名

指導者 総合教育センター 主任研修指導主事 橋田 孝
小学校 教諭

1 題材名	
めざせ 音読名人!	

2 題材の目標⁽¹⁾	
【1健(4)】【2心(1)(3)】【4環(2)】	【2心(3)】【4環(2)】
読むことについて、自分の得意な方法を選択し、その方法を使って国語の教材文を読むことができる。	国語の教材文を単語のまとまりごとに読むことができる。

3 題材の評価規準⁽²⁾	
【1健(4)】【2心(1)(3)】【4環(2)】	【2心(3)】【4環(2)】
読むことについて、自分の得意な方法を選択し、その方法で教材文を読んでいる。	国語の教材文を単語のまとまりごとに読んでいる。

4 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて
<ul style="list-style-type: none"> ・「教室でスラスラと音読したい。」という願いを実現するための学習であることを本児に伝え、「音読名人」になることを目標に粘り強く学習に向かうことができるようにする。 ・教材は、マルチメディアデジ教科書(以下デジ教科書)や単語フラッシュカードをタブレットPCで提示する。その際、指導者は、フォントの大きさや行間隔を変えることができることを本人に伝える。そのことを通して、本児自身が読むことについて、自分の得意な方法を選択できるようにする。 ・1単位時間の振り返りの学習では、音読の様子を撮影した映像を見ながら自分の読み方を振り返ったり指導者と対話をしながら自分のよさに気付いたりできるようにする。単元の最後には、これまで頑張ってきた点や成長した点を指導者と一緒に確認する。そして、「得意な方法なら音読ができる。」という思いをもち、学級で音読をしてみようという意欲を高めることができるようにする。また、自分の得意な方法を使うと他にどんなことができそうか考えることで、他教科の学習や家庭学習への意欲も高まるようにする。

5 情報活用能力について				
本単元の実践で、児童生徒に必要なICTの基本操作				
PC起動や終了	写真や動画の撮影	○	写真や動画の視聴	写真や動画の編集
文字の入力	ファイルの呼び出し・保存	○	アプリケーションの操作	ブラウザでのインターネット検索
プレゼンテーション	○	問題解決のための活用	クラウドの協働作業	情報モラル・情報セキュリティ

(1) (2)

自立活動の指導は、3観点ではなく、自立活動の内容6区分27項目と照らし合わせて行うものである。

そのため、「2 題材の目標」「3 題材の評価規準」「6 題材の指導と評価の計画」には、自立活動の内容6区分27項目を示すこととする。

(例)【1健(4)】とは、【1健康の保持(4)障害の特性の理解と生活環境の調整に関すること】を示している。

6 題材の指導と評価の計画（全体6時間）			
	学習活動	指導上の留意点	評価規準・評価方法
1	<ul style="list-style-type: none"> ・「音読名人」を目指すための学習であることを理解する。 ・国語の教材文の単語の読み方を覚える。 ・デジ教科書の機能の設定を変更しながら、読むことについて自分の得意な方法を見付ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学級でスラスラ音読するための学習であることを知らせ、意欲を高めるようにする。 ・国語の教材を予習できるようにする。 ・PowerPoint で作成したフラッシュカードを使って、何度も同じ単語に触れることができるようにする。単語の意味を想起しやすいように、カードにイラストを入れる。 ・音読の様子を撮影し、自分の読み方を振り返ることができるようにする。 	<p>【2心（3）】〔観察〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・読めなかった単語は、指導者の手本を聞きながら、正しく読もうとしているかを評価する。 <p>【2心（3）】【4環（2）】〔聴取・記録〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・読むことについて自分の得意な方法は何かを考えているかを評価する。
2	<ul style="list-style-type: none"> ・国語の教材文の単語の読み方を覚える。 ・デジ教科書の設定を変更しながら、更に自分の得意な方法を見付ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・読みにくかった単語を確認し、正しい読み方を教える。 ・前時の設定を振り返りカードで確認できるようにする。 ・音読の様子を撮影し、自分の読み方を振り返ることができるようにする。 	<p>【2心（3）】〔観察〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・読みにくかった単語を正しく読もうとしているかを評価する。 <p>【2心（3）】【4環（2）】〔聴取・記録〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・読むことについて自分の得意な方法は何かを考えているかを評価する。
3 本 時	<ul style="list-style-type: none"> ・デジ教科書の設定を変更しながら、更に自分の得意な方法を見付ける。 ・これまで試してきた読み方を振り返り、自分の得意な方法を考え、選択する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・一人で読みやすい設定に変更できるように声がける。 ・音読している様子を撮影し、自分の読み方を振り返ることができるようにする。 ・ビデオでこれまでの様子を振り返りながら、自分の得意な方法を選択できるようにする。 	<p>【2心（3）】【4環（2）】〔聴取・記録〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・読むことについて自分の得意な方法は何かを考えているかを評価する。 ・ビデオを見ながらこれまでの読み方を振り返り、自分の得意な方法を選択しているかを評価する。
4 ・ 5	<ul style="list-style-type: none"> ・国語の教材文の単語の読み方を覚える。 ・自分で選んだ得意な方法で、音読をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・フラッシュカードで答えが確認できるように設定し、一人で学習を進められるようにする。 ・読みにくかった単語を確認し、正しい読み方を教える。 ・音読の様子を撮影し、自分の読み方を振り返るようにし、読みにくい場合は設定を修正できるようにする。 ・上手に読めているところを称賛しながら、意欲が持続するようにする。 	<p>【2心（3）】〔観察〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一人で単語を正しく読もうとしているかを評価する。 <p>【2心（1）（3）】【4環（2）】〔観察・記録〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・読むことについて自分の得意な方法で音読をしているかを評価する。
6	<ul style="list-style-type: none"> ・得意な方法を今後どんな場面で活用したいかを考える。 ・活用したい場面を想定した練習をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでの学習を振り返り、成長した点や頑張ってきた点を称賛し、学級で活用しようという意欲が高まるようにする。 ・本児の願いに沿った活用場面で、どのように活動するか具体的な行動を一緒に考え、練習し、本児が自信をもって活用場面に向かえるようにする。 	<p>【1健（4）】【2心（1）（3）】【4環（2）】〔聴取・記録〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の得意な方法を、今後どんな場面で活用したいかを考えているかを評価する。 ・具体的な活用場面での意欲が高まっているかを評価する。

7 本時の指導

(1) 本時の目標

- これまでの読み方を振り返り、自分の得意な方法を選択することができる。

(2) 学校におけるICTを活用した学習場面

A 一斉学習	B 個別学習	C 協働学習
挿絵や写真等を拡大・縮小、画面への書き込み等を活用して分かりやすく説明することにより、子供たちの興味・関心を高めることが可能となる。	デジタル教材などの活用により、自らの疑問について深く調べることや、自分に合った進度で学習することが容易となる。また、一人一人の学習履歴を把握することにより、個々の理解や関心の程度に応じた学びを構築することが可能となる。	タブレットPCや電子黒板等を活用し、教室内の授業や他地域・海外の学校との交流学習において子供同士による意見交換、発表などお互いを高めあう学びを通して、思考力、判断力、表現力を育成することが可能となる。
A1 教師による教材の提示 画像の拡大提示や書き込み、音声、動画などの活用	B1 個に応じた学習 一人一人の習熟の程度等に応じた学習	C1 発表や話し合い グループや学級全体での発表・話し合い
B3 思考を深める学習 シミュレーションなどのデジタル教材を用いた思考を深める学習	B2 調査活動 インターネットを用いた情報収集、写真や動画等による記録	C2 協働での意見整理 複数の意見・考えを議論して整理
B4 表現・制作 マルチメディアを用いた資料、作品の制作	B5 家庭学習 情報端末の持ち帰りによる家庭学習	C3 協働制作 グループでの分担・協働による作品の制作
		C4 学校の壁を越えた学習 遠隔地や海外の学校等との交流授業

「教育の情報化に関する手引―追補版―」2020年6月 文部科学省

(3) コンピュータでできること

<input type="radio"/>	個別のドリル学習
	試行錯誤する
	写真撮影する
<input type="radio"/>	念入りに見る
<input type="radio"/>	録音・録画と再視聴
	調べる
	分析する
	考える
	見せる
	共有・協働する
	その他 ()

(4) 活用するICT機器等

<input type="radio"/>	PC (ノート・タブレット)	電子黒板	大型テレビ
	書画カメラ	ウェブブラウザ	デジタル教材
	プロジェクター	授業支援ソフト	動画コンテンツ
<input type="radio"/>	プレゼンテーションソフト	ドリル教材	ウェブ会議システム
<input type="radio"/>	その他 (デジジー教科書)		

(5) 学習場面でのICTの活用の仕方、目指す児童生徒の姿

LD等通級指導教室は、個々の障がいや特性に応じることはもちろん、対象児童の思いや願いにも着目して指導を行うことが大切である。本児は、「教室でスラスラと音読をしたい。」という願いをもっている。この願いを達成するために、国語の教材文を利用して学習を行う。

流暢に音読を行うためには、アセスメントを行った上で、児童自身が読みやすい方法を知る必要がある。そのために、以下の場面でICTを効果的に活用していく。

【B 個別学習】 [B1 個に応じた学習]

単語のまとまりで読むことに困難さがあるという実態から、教材文に出てくる単語を読むことができるようにPowerPointでフラッシュカードを作成する。その際、視覚情報の処理が得意という本児の特性を生かし、単語の意味を理解することができるようスライドにイラストを入れる。

デジジー教科書の活用では、本児がタブレットPCを操作しながら、フォントの大きさを変えたりふりがなを振ったりして国語の教材文を読む。この活動を繰り返すことで、本児が「この方法なら読める。」という得意な方法を探っていく。デジジー教科書で得意な方法が見付からない場合には、分かち書きにしたりスラッシュを入れたりしたリライト教材を提示する。

自分の得意な方法を見付けることは、「今までよりも勉強ができる。」という思いをもつことになり、学習への意欲の向上や文章内容の理解につながると考えられる。また、同じ方法で家庭学習を行うことで、これまでよりも主体的に家庭学習に取り組むことも期待できる。

(6) 本時の指導案 (3/6)		
	学習活動	指導上の留意点 (◇評価 【 】評価の観点 ■活用するICT機器等)
導入 5分	1 スピーチ 2 学習内容と課題を把握 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> 自分のとくいな方法を見つけよう。 </div>	<ul style="list-style-type: none"> 週末の出来事等を自由に話せるようにする。 ホワイトボードで学習の流れを提示し、前時と同じような流れで学習することを確認し、見通しをもてるようにする。
展開 25分	3 トレーニング ①単語フラッシュカード 教材文の単語を読む。 ②音読とクイズ 自分が読みやすいようにデジ教科書の設定を変更してから音読する。 読んだ文章についてのクイズに答える。	<ul style="list-style-type: none"> ■タブレットPC[B1] PowerPoint <ul style="list-style-type: none"> 読みにくい単語は、正しい読み方を教え、読めるようにする。 文字とイラストを挿入し、単語の意味を想起しやすいようにする。今後の学習への意欲付けのため、国語の予習単元の教材文に出てくる単語を扱う。 ■タブレットPC[B1] 音読 : デイジー教科書、iPad クイズ : PowerPoint ■iPad[B1] カメラ機能 (ビデオ) <ul style="list-style-type: none"> 前時の設定を提示し、前時と比べて、より読みやすい設定に自分で変更できるようにする。 読み上げ機能について確認する。 振り返りで活用するために、音読する様子をビデオ撮影する。 クイズは、PowerPoint で作成し、正誤判定ができるように設定する。 クイズの答え方から、得意な方法が文章理解につながっているかどうかアセスメントの材料として扱う。
終末 15分	4 振り返り トレーニングで読みやすかったのはどんな設定だったかを振り返る。 これまでのトレーニングの様子をビデオで振り返り、自分の得意な方法を選択する。 5 お楽しみ	<ul style="list-style-type: none"> ■iPad[B1] カメラ機能 (ビデオ) <ul style="list-style-type: none"> なぜ、その設定にしたのか、自分なりの理由を話し、カードに記入できるようにする。 これまでのトレーニングの動画を振り返り、自分の得意な方法を選択できるようにする。 選択できたことを称賛し、これからは選択した方法で練習していくことを伝える。 <p>◇これまでの読み方を振り返り、自分の得意な方法を選択している。</p> <p>【2心(3)】【4環(2)】</p>